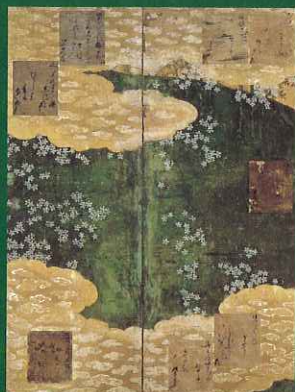


大阪城天守閣

— OSAKA CASTLE MUSEUM —





とよとみひでよりじひつわかはりまぜびょうぶ
豊臣秀頼自筆和歌貼交屏風



せんめんさんごくず
扇面三国図 (重要美術品)



とよとみひでよしもくぞう
豊臣秀吉木像



はなだいとげさんくれないおしどうまる
縹糸下散紅威胴丸



なんばんびょうぶ
南蛮屏風
(重要文化財)

動乱の歴史を刻む大阪城 大坂本願寺の時代

明応5年(1496)、浄土真宗の蓮如上人が今の大阪城付近に一つの坊舎を営んだ。これはやがて大坂本願寺という大寺院に成長し強大な勢力を誇ったが、天正8年(1580)天下統一をめざす織田信長に屈し、寺院や寺内町は炎上した。

豊臣時代の大坂城

織田信長没後、政治の主導権を握った羽柴(豊臣)秀吉が天正11年(1583)、大坂本願寺跡に築城を開始。天下人の居城にふさわしい大城郭を築きあげた。しかし秀吉没後、政権は徳川家に移り、慶長20年(=元和元年・1615)の大坂夏の陣により落城した。



しずがたけかつせんずびょうぶ
賤ヶ岳合戦図屏風



あきくさもんまきえすずりばこ
秋草文時絵硯箱



おおさかなつ じんずびょうぶ
大坂夏の陣図屏風 (重要文化財)



あきくさもんさいがうちわ
秋草文彩画団扇

絢爛豪華な時代へ

豊臣秀吉は天下統一の拠点として権威と権力を象徴する難攻不落の巨城を築きました。「三国無双」と賞されました。大阪城天守閣の展示を通じてこうした歴史に思いを馳せてください。



※展示品は随時入替
しております。



あきくさもみじしかもんまきえりょうしばこ
秋草紅葉鹿文時絵料紙管



とよとみひでよしじひつ
豊臣秀吉自筆
じせいわかえいそう
辞世和歌詠草
(重要美術品)

徳川幕府による再築

大坂城は2代将軍秀忠の命により、元和6年(1620)から10年の歳月をかけて全面的に再築された。寛文5年(1665)に天守を落雷によって失ったが、幕府の西日本支配の拠点として大きな役割を果たした。明治維新の動乱で多くの建造物が焼失する。

昭和の天守閣復興

明治以後、大阪城は陸軍用地として使われた。その中であって昭和6年(1931)、市民の熱意によって現在の天守閣が復興され、博物館施設として現在に至っている。大阪城一帯は第2次世界大戦の空襲によって損害をこうむったが、戦後は史跡公園として整備された。

大阪城公園案内図

重要文化財

大手門 多聞櫓 千貫櫓 乾櫓
一番櫓 六番櫓 焰硝蔵 金蔵
桜門 金明水井戸屋形

--- 天守閣徒歩コース



大阪空港
至 名神高速
至 豊中 至 千里中央



関西国際空港
至 堺・松原
至 八尾南
至 天王寺



交通機関のご案内

● 内数字は地下鉄出口番号 ※いずれの駅からも徒歩15分～20分

- 地下鉄：(谷町線)天満橋③、谷町四丁目①-B
(中央線)森ノ宮①③-B、谷町四丁目⑨
(長堀鶴見緑地線)大阪ビジネスパーク①、森ノ宮③-B
- JR：(環状線)森ノ宮、大阪城公園
(東西線)大阪城北詰
- 京阪：天満橋
- 水上バス：大阪城港
- 市バス：大手前、馬場町

大阪城公園は、梅1250本、桜4500本が咲き乱れる花見の名所です。また秋には「大阪城菊の祭典」も開催されます。夜間のライトアップされた黄金色に輝く天守閣も見逃せません。



西の丸庭園の桜



菊の祭典

本丸・二の丸一帯は特別史跡に、江戸時代以来の古建造物計13棟はいずれも重要文化財に指定されています。近くには難波宮史跡公園や大阪歴史博物館もあります。



大手口多聞櫓



難波宮史跡公園

◆ご案内

住 所：〒540-0002 大阪市中央区大阪城1番1号

電 話：06-6941-3044

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
ただし、例年春・夏には時間延長を実施しています。

休 館 日：年末年始（12月28日～1月1日）

入 館 料：大人600円・中学生以下無料
（15人以上は団体割引があります。）

※文化財保存のため、3・4階展示室では収蔵品を約2ヵ月ごとに
入れ替えています。

※館内のお手洗は、2階の一ヵ所のみです。

◆大阪城天守閣 ホームページのご案内

<http://www.osakacastle.net/>

・大阪城天守閣のホームページでは、展示概要や最新展示情報、関連イベント情報、交通案内などを掲載しています。

・大阪城デジタルガイド

携帯電話を使って城内の史跡が検索できます。

大阪城デジタルガイドは、右記のQRコードからアクセスできます。
QRコード読取機能付携帯電話をご使用下さい。

